

7章 倒置

問題

【1】

ポイント

倒置と言ってもその形は多岐にわたり、どのような形があるのかを一通り見直しておく必要がある。また、否定の副詞が文頭に来ると通常は倒置が生じるが、それは文否定の場合であって、語否定の場合では倒置が生じないことも確認しておこう。

解答・解説

- (1) Down came the rain in earnest.

「雨が本降りになった。」

- M + V + S の形。運動の方向や場所などを表す副詞が文頭に来るとその後が倒置になる。ただし代名詞の場合には S + V の語順になる。

Ex. Here he comes. (M + S + V)

- (2) Never again will I do such a stupid thing.

「もう二度とそんなバカなことはしません。」

- never again が否定の副詞句となって文頭に置かれた形。否定の副詞が文頭に出るとその後は倒置形になる。

Ex. I never knew it. → Never did I know it.

- (3) Not only did they save my life but they took me home.

「彼らは私の命を救ってくれただけでなく、家まで送り届けてくれた。」

- not only は否定の副詞句。文頭に置かれたためその後は倒置形になる。

- (4) So heavy was the bag that he could not carry it for himself.

「そのカバンはとても重かったので彼は自力でそれを運べなかった。」

- いわゆる so ~ that … 構文において、so ~ の部分が文頭に置かれることがあるが、その場合には倒置形が続く。

- (5) Tom didn't understand any English, nor I Spanish.

「トムは英語が全くわからなかったが、私もスペイン語が全くわからなかった。」

- 否定文, nor V S. (S もまた V ではない。) の形。

cf. 肯定文, so V S. 「S もまた V である。」

- (6) Unbelievable as it was, he was elected to the Diet.

「信じられないことでしたが、彼は国会議員に当選した。」

- [] as S V = Although (Though) S V [] となる。

Ex. Strange as it may seem, he didn't come.

(= Although it may seem strange, he didn't come.)

- (7) In no time the rumor got around.

「その噂はたちまち広がった。」

- in no time = quickly にすぎず, no は動詞を打ち消して否定文を作るわけではない (= 文否定ではない)。したがって, in no time の後は倒置形にする必要がない (語否定となる)。

【2】

ポイント

さまざまな倒置について気をつけながら, 入試標準レベルの問題を解いていく。出来なかった問題は, どういう理由で倒置されているのかをこの場でしっかりと押さえておくこと。

解答・解説

- (1) **c** 「その高層ビルを出るや否や, 火災が起こった。」
 = As soon as I left the high-rise building, the fire broke out.
 ○ I had hardly left the high-rise building when the fire broke out. の hardly という否定の副詞が文頭に出たためにその後は倒置される。
 ○ high-rise building 「高層ビル」
 ○ break out 「(火事・戦争などが) 起こる」
- (2) **a** 「地球の陸地で生えた最初の植物の一つは, トクサであった。トクサは先史時代には巨大な大きさまで生育した。」
 ○ Among 以下は前置詞句を作っているため主語も動詞もないことに注目する。**a** か **c** が残るが, be 動詞は一般に先に置かれることとそのあとの関係詞につなげることの両者を考えると **a** が正しい。
 cf. Among those present was a boy named Tom.
 (出席者の中にはトムのいう名の少年がいた。)
- (3) **a** 「そんなふうになるなんて全く夢にも思わなかった。」
 ○ I never imagined in my wildest dreams that I would end up like that. の never in my wildest dreams が文頭に置かれたため倒置形になったと考えればよい。
 ○ wildest dream 「途方もない夢」
- (4) **a** 「教授が『もうよい』と言って初めて, 立ち上がってこの部屋を立ち去ってよい。」
 ○ You cannot stand up and leave this room until the professor says it's all right. の not と until 節が文頭に出たために倒置形になる。(= It is not until the professor says it's all right that you can stand up and leave this room.)
- (5) **c** 「従業員の多くが新しいオフィスに文句を言ったし, 社長も文句を言った。けれども彼らはそれで我慢しなければならなかった。」
 ○ ‘肯定文, so V S.’ (S もまた V である。) の形式。前の文が肯定文であることに注意。
- (6) **a** 「絶対にそんな難しい試験はパスできない。その主題は私には難解すぎます。」
 ○ in no way = never (絶対に～しない) と考えればよい (文否定)。なお, In no time I left the house. (すぐに私は家を出た。) と区別すること (後者の no は語否定であり全体として肯定文になる。【1】(7) を参照のこと)。
- (7) **d** 「彼らが選手を代えた場合のみ, 試合に勝つチャンスがあるだろう。」
 ○ Only も「～でしかない」と否定を含意する場合には, 文頭に置かれるとその後は倒置

形になる。また、時制を考えると過去形の **a** は当てはまらない。

- (8) **b** 「万一何かが起こった場合には、私の携帯電話までいつでも連絡してください。」
○ If anything should happen to you の if を省略したために倒置形になったもの。**a** の If だといわれる仮定法現在（動詞の原形）となるが、現在では使われていないため避ける。
- (9) **d** 「ジェーンは突然泣き出して、その恐ろしい事件の詳細を説明した。その時になって初めて私は彼女が経験していたことを理解した。」
○ Only then という否定の副詞句が文頭に出たために倒置形になる。
○ Only then ～「その時になって初めて～」
- (10) **c** 「ふくろうは夜の狩りを好むが、コウモリもそうである。」
○ 肯定文, so V S 「S もまた V である。」
○ 前の文の動詞が一般動詞 prefer であるため、**d** ではなく **c** が正解となる。

【3】

ポイント

誤文訂正問題は倒置を理解していると解きやすくなることが多いと言われる。本問でも倒置というヒントに気を付けながら正確に答えを導けるようにしておこう。

解答・解説

- (1) **b** Nor it is → Nor is it

「(ダイアナ妃の) 銅像を立てなかったことでロイヤルファミリーを責めるのは妥当でないし、記念碑がないことが、嘆かわしくもダイアナ妃が忘れ去られてしまっていることを意味すると唱えるのもまた正しくない。」

○ 否定文, nor V S 「S もまた V でない」の形式。

- (2) **a** will reach → reach

「満場一致の同意に達して初めて、我々はおそらく皆に、まるで生まれながらの兄弟のように一体となったとみなされるのだろう。」

○ Only when 以下は否定の副詞節であるため、**b** の部分で倒置されていることは問題ないが、この when 節は未来の副詞節であるから will reach は reach と現在時制にしなければならない。

- (3) **b** which was → was

「私は道を東へ向かっていた。すると丘のてっぺんでハイビームにしている大型車があった。私は大半の運転手がやるだろうことをした。そして『おい、ハイビームを下げろ』と言うべく、素早く礼儀正しくヘッドライトをフラッシュさせた。」

○ 下線部 **b** の which の先行詞が何かと同時に was の主語が何かを考える。over the top of the hill (M) is (V) a large-size car (S) ～となる。

【4】

A.

全訳

彼女は決して闘いをやめなかった。彼女は不幸に打ちのめされるようなことは決してな

かった。実際、彼女は勇敢な女性であった。弱さや絶望の印を探しても無駄である。自分の不幸な運命についての泣き言を、彼女は一行も書いたことがないのだ。

B.

全訳

「最も興味深い部分を選び出し、余分なことを切り捨て、適当な長さまで原稿を短くしてから、それを私のところへ戻しなさい。」現代の編集者は、現代の読者が退屈を恐れることを知っているので、そのように言うだろう。同じようなことを、孔子の古典やコーラン、マルクスの資本論や、ベストセラーであることが判明している他のあらゆる神聖な書物についても言うだろう。そしてまた、このことは神聖な本だけに当てはまるのではない。あらゆる優れた書物には退屈な節が含まれている。最初のページから最後のページまで異彩を放っているような小説が偉大な書物でないというのは、かなり確かなことである。

C.

全訳

もし我々が前世紀（19世紀）初頭のロンドンに住んでいたならば、ほぼ間違いなく王立科学研究所へ若きハンフリー・デービーが化学の講義をするのを聞きに行っていたことだろう。たとえ化学に全然興味がなかったとしても行っていたであろう。それは当時の流行だったのである。ロンドン中の人々がデービーの才気に溢れた雄弁な講義を聴くために群がった。学問のある科学者、学生だけでなく、金持ちの貴族、上流社会の婦人や詩人さえもが、科学について学べるものをすべて一生懸命に学びたがった。

【5】

解答

(1) ① A When ② B Then ③ C However ④ D Even if

(2) 「全訳」の下線部①～④参照。

(3) 1. c 2. d 3. a 4. b 5. c

解説

(1)

① 「穴が十分に大きい」と「犬はただ口を開けて肉をその中に落とす」という2つの節を結びつけるものとして、時を表す従位接続詞を選ぶ。

② 前文に続けて「それから；そして」と順序を示す then を選ぶ。文脈から and も考えられるが、and は会話以外では通常文頭に置かない。

③ 「市販のドッグフードなどでは食べ残しがなく、食べ物を埋める穴を掘る機会がない」と「大きな骨を与えられれば穴に隠す」という文と文を結びつけるには反意的な表現が必要だが、節と節を結びつける接続詞 but ではなく文を結びつける副詞 however が入ると判断できる。

④ even if と even though はほぼ同意的に使用されることもあるが、基本的には even if は不確実なことに對する条件の if を強めたもの、even though は既成事實に對しての譲歩の though を強めたものである。「過剰に餌を与えられていないが運んで埋める」について、「餌を与えられていないのが事実だが運ぶ」のではなく、「もし餌を与えられ

ていても与えられていなくても運ぶ」のであるから、不確実なものと判断する。ここでは even though は適さない。

(2)

①◇ find oneself with ~ = have find oneself は「気がつくと（または、何かの結果として）ある状態にいる」という意味。

②◇ keep ~ from …ing = prevent [stop] ~ from …ing 「～が…するのを防ぐ」

◇ go bad 「傷む；腐る」

○ この go は「（ある状態に）なる」という意味。

Ex. Her face went red with anger. (彼女の顔は怒りで真っ赤になった。)

③◇ leave over ~ 「（普通は受身で）（…を）残しておく」

cf. leftovers 「（食事の）残り物」

◇ would it be carried into = it would be carried into

○ 倒置が起こっているのは、文頭に Only if という準否定の副詞語句があるためである。

Ex. Only in this way can we explain this mystery.

(そういうふうにならなければ、この謎は説明できない。)

④◇ It is this “leftover” quality of a bone that ~ 「～であるのは、この骨の『食べ残し』としての性質である」

○ 強調構文に注意。

○ persuade ~ to do 「～を促して…させる」

(3)

1. 第1段落、最終段落を参照。オオカミは、犬の祖先として食べ物を埋めるという特徴が挙げられているにすぎない。

2. 本文ℓ. 4～5を参照。

3. 本文ℓ. 12～14を参照。

4. 本文ℓ. 18～19を参照。

5. 本文ℓ. 21～22を参照。

全訳

どうして犬は骨を埋めるのだろうか。犬のこの習性を理解するためには、オオカミの習性を考えなければならない。オオカミはすべての犬の祖先だからだ。犬のほとんどの本能的行動は、オオカミにその源をたどることができる。

オオカミがネズミやウサギのような小さな動物を捕まえると、それはすぐに1匹のオオカミが食べてしまう。ヒツジや小さなシカでも、数匹のオオカミにあつという間に食べられる。1匹のオオカミは1回の食事で最高20ポンドの肉を食べることができる。しかし、オオカミが大きなシカや馬、牛のような大型の動物を捕まえると、①1日に食べられる以上の肉にありつくことになる。そのような場合、彼らは大きな肉を引きちぎって、地面に埋めておくこともある。こうすれば、清掃動物に食べられないように守ることができる。特にカラスやノスリ、ワシ・タカのような鳥たちから。②これは、夏の暑さの中で、肉がすぐに腐るのを防ぐことにもなる。

オオカミは、口に肉をくわえたまま、前足で穴を掘る。穴が十分に大きくなると、ただ口

を開けて肉をその中に落とす。そして、鼻で土を穴の中へ押し戻し、肉を隠す。猫と違って、掘った穴を埋めるのに前足は使わない。

おなかをすかせた犬なら、その祖先のオオカミと同じように、食べられるものは全部食べるだろう。③食べ残した物がある場合にしか、庭に運んで埋めることはない。しかし、多くの家で犬に餌を与えすぎているとはいえ、市販のドッグフードを口にくわえて穴を掘ることはできない。柔らかい缶詰のドッグフードやドライフードの小片でいっぱい餌しか与えられていない犬は、何も埋める機会はない。しかし、大きな骨を与えられれば、犬には運んでいって穴に隠すものがあることになる。

たとえ、餌が過剰に与えられていなくても、大きな骨は碎いて食べることができないから、現時点では食べきれない食べ物としての性質がある。④空腹の犬でさえも骨を埋めるようにし向けるのは、この骨の「食べ残し」としての性質である。

注

- ℓ. 1 ◇ bury = put underground 「～を埋める」
 - ◇ bone 「骨」
 - ◇ behavior 「行動；習性」 < behave *v.* = act in a certain way
 - ◇ consider = think carefully about
- ℓ. 2 ◇ wolves : wolf の複数形
 - ◇ act = do something
 - ◇ ancestor 「祖先；先祖」 ⇔ descendant (子孫)
 - ◇ instinctual 「本能の；本能的な」 < instinct *n.*
- ℓ. 3 ◇ trace ~ back 「～の出所〔由来〕を明らかにする」
- ℓ. 4 ◇ rabbit 「(穴) うさぎ」
 - ◇ immediately = at once 「すぐに」
- ℓ. 5 ◇ single = one only
 - ◇ quickly = with little or no delay
 - immediately とほぼ同じ意味
- ℓ. 6 ◇ up to ~ 「(最大) ~まで；～に至るまで」
 - ◇ pound 「ポンド」 (質量の単位。1 pound は約 454 グラム。)
- ℓ. 8 ◇ tear off ~ 「～を引きちぎる」
- ℓ. 9 ◇ safe from ~ 「～を心配する必要のない」
 - ◇ scavenger 「腐肉を食う動物、清掃動物」
 - ◇ buzzard 「ノスリ (タカの種類)」
- ℓ. 10 ◇ vulture 「ハゲワシ；コンドル」
- ℓ. 11 ◇ dig 「(穴など) を掘る」 ※ dig - dug - dug
 - ◇ jaws 「(あごと歯を含めた) 口」
 - この意味では複数形で用いられる。
- ℓ. 12 ◇ simply = just
 - ◇ drop ~ in 「～を落として入れる」
- ℓ. 13 ◇ unlike ~ = different from ~ 「～とは違って」

- ℓ. 15 ◇ A hungry dog would, … 「おなかをすかせた犬なら…だろう」
 ○ 仮定法の would に注意。主語に仮定の条件が含まれている。
 cf. No other man would do that. (ほかの人ならだれもそんなことをしないだろう。)
 ◇ everything it could 「食べられるものはすべて」
 ○ 同じ動詞の繰り返しを避けるため, could の後の eat が省略されている。
- ℓ. 17 ◇ overfed < overfeed 「～に過剰に食べ物を与える」
 ◇ commercial 「市販用の」
- ℓ. 18 ◇ canned < can 「～を缶詰にする」
 ◇ tiny = very small
 ◇ dried food 「ドライフード；乾燥食品」
- ℓ. 21 ◇ break up ～ 「～を粉々〔ばらばら〕に砕く」
- ℓ. 22 ◇ therefore = for that reason
 ◇ quality 「特質；性質」
 ◇ object 「物；物体」
 ◇ at the present time 「現時点で」
 ○ a food object that cannot be eaten at the present time (現時点では食べることができない食べ物) とは, 「食べ残し (something left over)」のことを指している。

【6】

ポイント

接続詞を用いて, 極めて口語的な文章を英語に直してみよう。この程度の英文は覚えてしまった方がよい。

解答・解説

- (1) Excuse me, but can [may] I ask you the way to the Eiffel Tower?
 ○ Excuse me, but ～の but は, 厳密には逆接ではないことにも注意。
- (2) Do come to our showroom, and we'll show you many more fine products.
 ○ Do は命令文の強調で「ぜひ」という日本語に相当する。‘命令文, and S V.’ (～しなさい。そうすれば S V) の形を用いる。
- (3) As yet, I haven't decided which college I will attend.
 ○ As yet は通例否定文で用いて「今のところ～(ない)」という意味。肯定文では so far (今までのところ) を用いる。
 Ex. So far, I am very happy with this job.
 (今までのところ, この仕事には満足です。)
 ○ 大学は university でも可。
- (4) It will be a long time before you master this technique.
 ○ before を用いるため, 「技術を習得する『前に』長い時間がかかるだろう。」と読み換える。It will not be long before he comes. (まもなく彼が来るでしょう。) という英文などから類推してもよい。
- (5) It is not until you leave your country that you appreciate its good points.

- It is not until ~ that ... 「～になって初めて…」 (= It is only after [when] ~ that ...)

【7】

A.

解答・解説

- (1) were

「人類が寒い北部の地方に定住するのを可能にしたのは、火の管理と衣類の使用であった。」

- It was ~ that ... の強調構文で主語を強調したものである。allow ~ to do (～が…するのを可能にする) であるから受動態はおかしい。

- (2) c

「開かれた民主主義国家では、議会を解散する時期を決定するのは国民なのでしょうか。」

- It is ~ that ... の強調構文を疑問文にしたもの。動詞が decide であるから強調された主語は複数扱いであることを見抜く。

B.

解答・解説

- (1) Only when my parents started to meddle in my life and tried to impose their will upon me did I decide to rebel.

- only は「～でしかない」という否定の意味を含む場合、文頭に出るとその後が倒置形になる。Only when ~ = Not until ~ となる。

- (2) As a student, I didn't like mathematics, nor did I understand it.

- ‘否定文, nor V S’ (S もまた V ではない) の形式にする。

- (3) Under no circumstances will she be allowed to be his wife.

- under no circumstances (何があっても～ない (= never)) が文頭に出たためにその後は倒置形になる。

【8】

解答

- (1) There are signs everywhere in the park(,) reading “Keep off the grass.”

- (2) Don't put off till tomorrow what you can do today.

- (3) You might say that.

- (4) You said it. / You can say that again.

- (5) I wish you luck.

- (6) You look a little down.

解説

- (1)

- 「芝生に入ってはけません」は “keep off the grass” で表す。

- off と on は対をなすことが多いので要注意。

cf. Keep on the track. (車線からはずれな。)

Keep off the grass. (芝生に近づくな。)

- 「公園のいたるところに～という立札がある」は、
There are signs everywhere in the park, reading “——.” で表す。
- 「いたるところに立札がある」のだから、sign は複数形にしなければならない。
- なお、この read は、他動詞が自動詞化したもので「(…に) 読める」「(…と) 書いてある」の意味を表す。

(2)

- 「期日を遅らせる」「延期する」は put off, postpone, delay で表し、その反対の「期日を早める」「繰り上げる」は advance, move up で表す。
cf. He put off [postponed : delayed] his departure for three days.
(彼は出発を 3 日延ばした。)
He advanced [moved up] his departure for two days.
(彼は出発を 2 日繰り上げた。)
- 「明日まで」の「まで」は「までずっと」の意味なので、until 又は till を用いて until [till] tomorrow とする。
cf. I'll be here until six. (6 時までずっとここにいます。)
I'll be there by six. (6 時までにはそこに行きます。)
- 「今日できること」は what you [one] can do today とする。
- until tomorrow を文末に置くと、until tomorrow があたかも what の節中に組み込まれているように見えるので、put off とその目的語である what you can do tomorrow の間に入れる。

(3)

- 相手に同意していないことを暗に示す時の決まり文句で、日本語の「そうとも言えるけれど」に相当する表現は、You might say that. である。この might は「現在の推量」から転じて「譲歩」を表していると考え。次のダイアログで確認しておこう。

A : You look kind of depressed. What's the matter?

B : We have to move again.

A : Oh, why?

B : Our son has hay fever. So we're moving near the ocean.

A : You'll be able to do a lot of swimming. You're lucky.

B : You might say that. But moving is such a nuisance.

A 「何か元気がないですね。どうしたんですか。」

B 「また引っ越さなくてはならないんです。」

A 「えっ、なぜ。」

B 「息子が花粉症なんです。だから今度は海の近くに引っ越すんです。」

A 「たくさん泳げるから、いいんじゃないんですか。」

B 「そうとも言えるけど。でも引っ越しはとにかく厄介ですよ。」

(4)

- 「あなたの言う通りです」と言う時の say を用いた決まり文句は、

① You said it. (3 語)

② You can say that again. (5 語)

[kən] [ðæt]

で2つとも入試では頻出。

②は、can が弱形、that が強形で発音され、発音の問題としても狙われる。

また、②は again をとって You can say that. としても正しい英語である。(しかし、5 語という条件は満たさない。)

(5)

○「君がうまくいくよう祈っているよ」に対応する luck を用いる決まり文句は、2 語ならば Good luck! がすぐ思いつくと思うが、4 語ならば、I wish you luck. となる。

○この wish は wish + A + B で「A (人) に B (幸運, 成功など) を祈る」の意味になり、

I wish you		a Happy New Year. (新年おめでとう。)
		a Merry Christmas. (メリークリスマス。)

のように用いる。4 語という条件がなければ、

I wish you good luck.

としてもよい。

(6)

○次の例を見ればわかるように down は形容詞として「気落ちした、元気のない」の意味で用いることができる。

My brother was very down after failing the exam.

(私の兄は試験に落ちて大変落胆していた。)

a down expression (しょんぼりした顔つき)

kick		a person when he is way <u>down</u>
hit		

(人がひどくがっかりしている時に追いうちをかける)

※この way は far の意味の副詞。

この down を用いれば、本問は

You		look		a little down.
		seem		

とできる。

今日の一言

As fast as one goes another comes. 「応接に暇あらず。」

文法的には *Another comes as fast as one goes. という比較の文の as fast 以下が文頭に置かれた形 (MSV) とも考えられる。つまり, 「ある人が出て行くのと同じくらい速く別に人がやって来る」という意味になる。人の相手に追われて休む暇もなく多忙な様子を表すことわざである。商売ではよいことだろうが, 勉強だとそうはいかない。覚えたそばから次々と知識が抜けて行かれては困る。復習は定期的に行おう。

(*実際には one と another は one を先に書くので, One comes as fast as another goes. となる。)



【1】

解答

- (1) Singing in a karaoke club is her escape from the stress of daily life.
- (2) The solution to this dilemma will require addressing two problems that are interrelated.

【2】

解答例

- (1) It seems sensible to save a considerable amount of money for one's old age.
- (2) It was not until I ran outside barefoot that I realized my error.
- (3) The other day I heard an old professor just before his retirement saying emotionally, "If I had passed the interview to study abroad in my youth, I would have led a completely different life."

別解

The other day I heard an aged professor on the point of retirement saying, his voice full of emotion, "If I had passed the interview to study abroad when I was young, I imagine my life would have been completely different. "



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--